

仲西 貫禄のV

県中学ハンド

中学校春季選手権大会最終日は29日、八重瀬町の東風平体育館で行われ、男子は浦添が35―28で仲西を下し2年連続6度目の優勝、女子は仲西が30―21で神森を破り、4年ぶり9度目の栄冠に輝いた。

美 東 29―28 神 森	浦 添 35―28 仲 西	神 森 25―21 港 川	仲 西 24―13 宮 川	宮 里 23―18 港 川	仲 西 29―21 神 森	浦 添 39―31 美 東
▽3位決定戦	▽決勝	▽準決勝	▽準決勝	▽3位決定戦	▽準決勝	▽準決勝
美 東 29―28 神 森	浦 添 35―28 仲 西	神 森 25―21 港 川	仲 西 24―13 宮 川	宮 里 23―18 港 川	仲 西 29―21 神 森	浦 添 39―31 美 東

一時17点差 胸張る攻守

ハイライト

仲西が、春の全国選手権3位の貫禄をみせつけた。開始直後の前半20秒、エースの左バック上地涼奈の先制点で波に乗り、一時は17点までリードを広げる圧勝だった。

上原卓也監督は「(序盤で)6―0にしようと話していたが、8―0までもつていった。本当に頼もしい」とほめた。

平安山笑奈主将は「全国3位の自覚

を持つていこうと確認し合った」と納得の表情。「自分たちのペースで試合ができ、しっかりと守って攻撃にいった。次につながる」と胸を張った。

エース上地は、準決勝では厳しくマークされたが、相手を引きつけて、周りを生かして得点につなげ、決勝では、チーム最多の13得点の活躍だった。「自分のプレーには、まだ満足していないが、みんなで展開できたのは良かった」と振り返った。

平安山主将は夏の中学総体に向けて「シュートミスもあったので、一本一本大事に攻めて県内優勝し、今度は全国制覇を狙う」と意気込んだ。

(安里真己)

仲西―神森 後半6分、仲西の平安山笑奈が21点目のシュートを決める―東風平体育館(安里真己撮影)



男子は浦添連覇

浦添―仲西 チーム最多得点の川上勝太(浦添)がシュートを放つ

快勝で2連覇を飾った男子浦添の東江功子監督は「練習してきたことを良い形で出せた。この代は、ここまで優勝がなかったが、やっとできた」と満足げだった。「(相手の)間を強くいく」意識がチーム内で徹底され、縦への強い攻めが相手ディフェンスを崩し、効果的にポストにつながった。

「楽しく試合ができた」と話すセンターの宮城大樹が、ゲームメイクで成長。「みんなで攻めるようにした。ノーマークをつくるようにボールを回す時に心がけた」と振り返った。全国を見据え、準備を課題に挙げ「しっかりとぶつかって前に来るのは嫌」と思わせたい。

東江監督も「体は大きくないが、スピードを生かして、県内で勝って、九州・全国の上位で戦っていけるようにしたい」と話した。